令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から、 中小学校の学習指導について考えます。

毎年国内すべての小学校で、6年生を対象に全国共通の問題で学力(国語・算数)や生活についての調査を行っています。今年度は3年に1度の理科の学力についても調べました。学校毎に結果がでるのですが、点数ではなく正答数で表されます。今年度の結果は以下の通りです。

教科	国語	算数	理科
正答数	9.8/14問	9.2/16問	10/17問

調査の目的には、一人一人へのフィードバックもありますが、学校として、よりよい教え方でどの子も分かる授業に改善をしていくこともあります。

今年度の結果は、全体的に正答数が多い状況ですが、中小学校では個々の結果を分析し、後期の指導に活かしていきます。

国語

- 漢字を正しく使うことができています。
- 昔、厠(かわや)と言っていた言葉が今では使われなくなったという内容の説明文を読んで、事実と感想、意見などの文章全体の構成を捉えて作者が言いたいことをつかむ問題がよくできていました。
- 同じ問題で、時代の変化による言葉の変化や違いに気付くこともよくできていました。
- ▲説明文で、文章と図表などを結び付け、内容をまとめて自分で文章を作る問題に課題が見られました。
- ▲バスの運転手にインタビューした内容を図にメモした結果を見て、語句と語句のつながりを見てどのようにメモしたかを理解することに課題が見られました。
- ➡文章を理解する学習は続け、その中で図や表にまとめ、自分の言葉で文章にしてまとめる学習を増やしていきます。

算数

- $1/2 + 1/3$ という分母の違う分数のたし算がよくできていました。
- $0.4 + 0.05$ という問題で、 0.01 をもとにすると 0.4 は 0.01 の 40 個分となるという共通する単位(もとにする数)を使って計算する方法を理解している。
- 台ばかりのメモリ(最小メモリ $0.5g$ 、使用重量 $1kg$ まで)にもものを載せた時

のメモリを読んで何gか答える問題がよくできていました。

- ▲平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図する手順を答えるなど筋道立てて考える問題が難しかったようです。
- ▲2013年と2023年のブロッコリーの出荷量の分かるグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて文章で書く問題に課題が見られました。
- ➡計算は出来ているので、図形の特徴をつかみ作図したり、自分で理由を書きながら結果を文章で書いたりする授業を増やして力をつけていきます。

理科

- アルミニウム、鉄、銅について、電気を通す、磁石に引き付けられる、という特徴についての知識が身に付いています。
- 氷がとけてできた水が海に流れていくことについて、いろいろな単元で学習したことを思い出した上で、体積変化でなく高低差が関係しているという解答を選ぶことができていました。
- やかんで沸騰した水が水蒸気になり、注ぎ口の先で冷やされて湯気となり、やがて湯気が見えなくなったことについて、蒸発して見えなくなったことを理解していました。
- ▲赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基にその理由を自分の文章で書くことに課題がありました。
- ▲やかんで沸騰した水が注ぎ口の先にある氷の入ったコップに到着し水滴になることを温度変化と関わらせて答えることが難しかったようです。
- ➡知識の定着は出来ているので、結果を関わらせて考えることや自分の考えを書き表す授業を増やしていきます。

児童質問紙

【中小学校のよさが表れている項目】

- ・自分には良いところがある。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ・自分と違う意見について考えることは楽しい。
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
- ・これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察することがあった。
- ・地域や社会をよくするために何かしたいと思う。
- ・PCやタブレットを使って文章を書くことができる。
- ・インターネットを使って情報を収集し自分のペースで学習を進めることができる。